



CSV Zero

CSV Zero ユーザーマニュアル

全機能ガイドー できること・使いどころ・設定方法をすべて解説

読み込み

表示

編集

検索・並べ替え

SQL

AI連携(MCP)

設定

このマニュアルの構成

1



基本操作 — 読み込みと表示

ファイルの開き方 / タブ管理 / 表示のしくみ

2



データを編集する

セル編集 / Undo・Redo / 変更の反映

3



探す・絞り込む・並べ替える

フィルタとソート / 検索

4



保存する・分析する

CSVエクスポート / SQLエディタ

5



詳細設定でもっと使いこなす

テーブル管理 / DBモード / 見た目 / セキュリティ

6



AIと連携する（MCPサーバー）

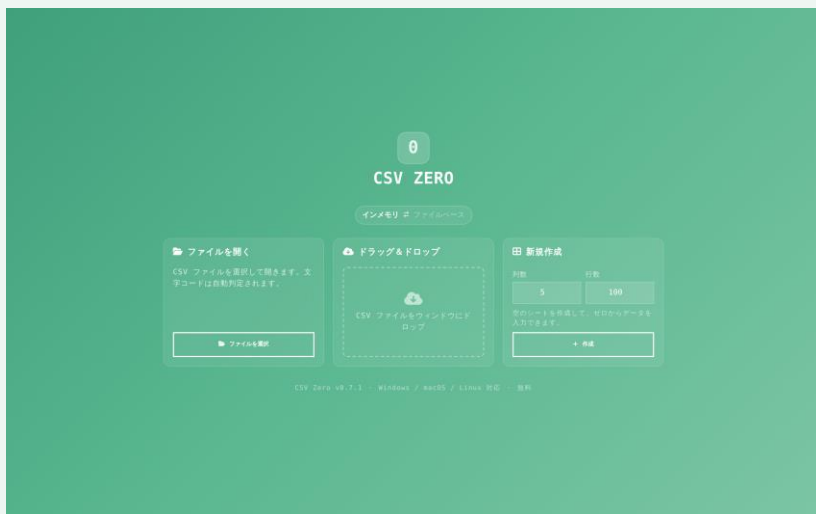
MCPとは / かんたん連携 / 詳細設定 / 活用シーン

はじめに

2つの基本画面を覚えましょう

CSV Zero の操作は「ホーム画面」と「シート画面」の行き来が基本です。

1 ホーム画面



2 シート画面（メイン画面）

注文ID	顧客名	金額	日付	状態
1	田中太郎	12,000	2024-01-05	完了
2	佐藤花子	8,500	2024-01-06	処理中
3	鈴木一郎	24,000	2024-01-07	完了
4	高橋美咲	15,750	2024-01-08	完了
5	田中健一	9,200	2024-01-09	保留
6	渡辺涼子	31,000	2024-01-10	完了
7	山本大輔	18,300	2024-01-11	処理中
8	中村さくら	7,650	2024-01-12	完了
9	小林優子	42,100	2024-01-13	完了
10	加藤直樹	13,900	2024-01-14	保留

ファイルを開く（またはドロップ／新規作成）と、自動的にシート画面へ切り替わります。以降の作業はすべてシート画面で行います。

基本操作 読み込みと表示

ファイルを開く・タブで管理する・軽快に表示する



ファイルの開き方は4通り

1

ダイアログで選択

ツールバーや「ファイルを選択」から通常のファイル選択画面で開く

2

ドラッグ&ドロップ

エクスプローラー／Finderからウィンドウに直接ドロップ

3

他アプリから起動

右クリック→「プログラムから開く」でCSV Zero を関連付けて起動

4

新規シート作成

列数・行数を指定して空のシートから始める

文字コードは UTF-8 / UTF-8(BOM) / Shift_JIS / EUC-JP / UTF-16 を自動判定。読み込み時に迷うことはありません。

ユースケース

取引先や基幹システムから届く、文字コードも形式もまちまちな CSV を、都度確認せずそのまま開ける。

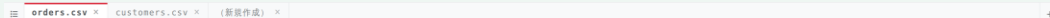
こんな方に

Excel の「データ→テキストファイル」インポート手順が面倒・毎回文字コードで悩む方に。

タブで複数ファイルを管理する

開いた CSV はブラウザのようにタブで並び、切り替えながら作業できます。

。



さらに「CSVを追加読み込み」を使えば、既存のシートに別の CSV を継ぎ足せます。カラム構成が多少違っていても、足りない列は自動で追加されます。

ユースケース

月ごとに分かれた売上 CSV（1月分・2月分…）を1つのシートに結合して集計する。

こんな方に

複数ファイルを開き直しながら見比べる作業に、非効率さを感じている方に。

CSV を追加読み込み

選択した CSV を、現在アクティブなシートに追記します。
カラム構成が違っていても読み込み、足りないカラムは自動追加されます。



CSV ファイルをここにドロップ

📁 ファイルを開く

☒ ヘッダ行を読み飛ばす（各ファイルの先頭 1 行を除外）

追加するファイル： 2 件

 2024-02_orders.csv	×
 2024-03_orders.csv	×

キャンセル

追加読み込み

大容量データも軽快に表示する

■ 仮想スクロール

画面に見えている行だけを描画。ページ切替なしで100万行でも軽快にスクロールできる。

■ 列の並び替え

ヘッダをドラッグして列の順番を入れ替え、比較したい列を並べられる。

■ 列幅の自動・手動調整

列名とデータ幅を実測して自動調整。境界線をドラッグしての手動調整も可能。

■ ヘッダ固定

先頭行をヘッダとして固定し、ソート・フィルタ・検索の対象外にできる。

	A	B	C	D	E	
	注文ID	顧客名	金額	日付	状態	
1	1001	田中太郎	12,000	2024-01-05	完了	
2	1002	佐藤花子	8,500	2024-01-06	処理中	
3	1003	鈴木一郎	24,000	2024-01-07	完了	
4	1004	高橋美咲	15,750	2024-01-08	完了	

ユースケース

数十列ある巨大な業務データを、必要な列だけ手前に並べ替えて見比べる。

こんな方に

Excel だと重くて開けないほどの、数百万行クラスのファイルを日常的に扱う方に。

データを編集する

セル編集・行操作・Undo/Redo・変更の反映



セルの編集と行の操作

- セルをダブルクリック、または選択して直接入力すると編集モードになる
- 複数セルをドラッグで範囲選択し、Delete で一括クリア
- 行番号を右クリックすると、行の挿入・削除メニューが開く
- 行は好きな位置に何行でも挿入できる（論理削除で復元も考慮した設計）

列そのものの追加・削除は現在未対応です。列を増やしたい場合は「CSVを追加読み込み」、不要な列は「カラム表示切替」で非表示にできます。

ユースケース

取り込んだデータの入力誤りをその場で直接修正したり、不要な行をまとめて削除する。

こんな方に

Excel と同じ操作感で、覚え直さずにそのままCSVを編集したい方に。

行番号を右クリック

コピー Ctrl+C

貼り付け Ctrl+V

切り取り Ctrl+X

上に行を挿入

下に行を挿入

この行を削除

選択範囲をクリア Del

安心して編集できる3つのしくみ

Undo / Redo

操作履歴をさかのぼって元に戻したり、やり直したりできます。間違えても安心して編集を進められます。

Ctrl+Z**Ctrl+Y**

コピー＆ペースト

Excel やスプレッドシートで選択した範囲をそのまま貼り付け可能。逆に CSV Zero 側からのコピーも Excel に貼り付けられます。

Ctrl+C**Ctrl+V**

オートフィル

セル右下のフィルハンドルをドラッグすると、連番や同じ値を連続入力できます。

ユースケース

大量のセルを一括置換した後、結果を確認しながら必要な分だけ元に戻す。

こんな方に

「間違えて壊してしまったらどうしよう」と編集に慎重になりがちの方に。

編集内容をデータベースに反映する

CSV Zero は内部で SQLite データベースとしてデータを保持しています。セルを編集しても、その場ではまだ画面上の変更にとどまり、**ツールバーの ↑ ボタン（未反映の間は警告色で表示）** を押すと、まとめてデータベースに反映されます。



1,234件 / 全 1,234件 | 🔍 ☰ 📄 📤

反映してからでないと、検索・フィルタ・SQL・エクスポートの結果には最新の編集内容が反映されません。まとめて編集してから1回で反映するのが効率的です。

ユースケース

数百件のセルをまとめて修正してから、最後に一度だけ反映してSQLで集計を確認する。

こんな方に

「今の変更はちゃんと保存されているのか」を画面上ではっきり確認したい方に。

探す・絞り込む・ 並べ替える

フィルタ・データ型を意識したソート・全文検索



フィルタと並べ替え

列ヘッダのアイコンから、その場でソート・フィルタ条件を設定できます。

■ 並べ替え

文字列・数値・日付、それぞれのデータ型を意識した正しい順序で昇順／降順に並べ替え

■ フィルタ条件

「等しい」「含む」「以上・以下」などの条件を列ごとに複数設定し、AND条件で絞り込み

ユースケース

「状態が完了、かつ金額が1万円以上」の注文だけを一覧表示して確認する。

こんな方に

Excelの並べ替えで「1, 10, 2」のような文字列順になって困った経験がある方に。

▼ E (状態) - ソート / フィルタ

並べ替え

降順 (▼)

文字列として比較

フィルタ条件 2

等しい

= 完了

含む

🔍 保留

+ 条件を追加

クリア

適用

シート全体から一瞬で見つける

Ctrl+Fで検索バーが開き、表示中のすべてのセルを横断してキーワード検索します。ヒットしたセルはハイライト表示され、Enter / Shift+Enter（または前後ボタン）で一致箇所を順番にジャンプできます。フィルタ・ソートが適用されている場合はその結果を反映して検索し、ヘッダ固定中の行は検索対象から除外されます。

	A	B	C	D	E
	注文ID	顧客名	金額	日付	状態
1	1001	田中太郎	12,000	2024-01-05	完了
2	1002	佐藤花子	8,500	2024-01-06	処理中
3	1003	鈴木一郎	24,000	2024-01-07	完了
4	1004	高橋美咲	15,750	2024-01-08	完了
5	1005	田中健一	9,200	2024-01-09	保留
6	1006	渡辺涼子	31,000	2024-01-10	完了
7	1007	山本大輔	18,300	2024-01-11	処理中
8	1008	中村さくら	7,650	2024-01-12	完了
9	1009	小林優子	42,100	2024-01-13	完了
10	1010	加藤直樹	13,900	2024-01-14	保留

1,234件 / 全 1,234件

1 / 2

1件の変更を反映しました

orders.csv customers.csv (新規作成)

インメモリ ファイルベース 1行目をヘッダ固定

平均: 16,741.67 データの個数: 6 合計: 100,450 127.8.0.1:3939

※ 大文字小文字の区別・完全一致・正規表現による絞り込みは今後のアップデートで対応予定です。

ユースケース

数万件の顧客データの中から、特定の氏名やメールアドレスを瞬時に見つけ出す。

こんな方に

スクロールして目視で探すのに疲れてしまった方に。

保存する・分析する

CSVエクスポートと、SQLエディタでの集計



CSV エクスポートの詳細設定

文字エンコーディング

UTF-8（BOM有無を選択）／Shift_JIS／EUC-JP など、提出先に合わせて指定

改行コード

CRLF（Windows）／LF（Unix・Linux）／CR から選択

クオート囲み

すべて囲む／必要な場合のみ／カラム指定など、取り込み先の仕様に合わせて調整

出力範囲・クイック保存

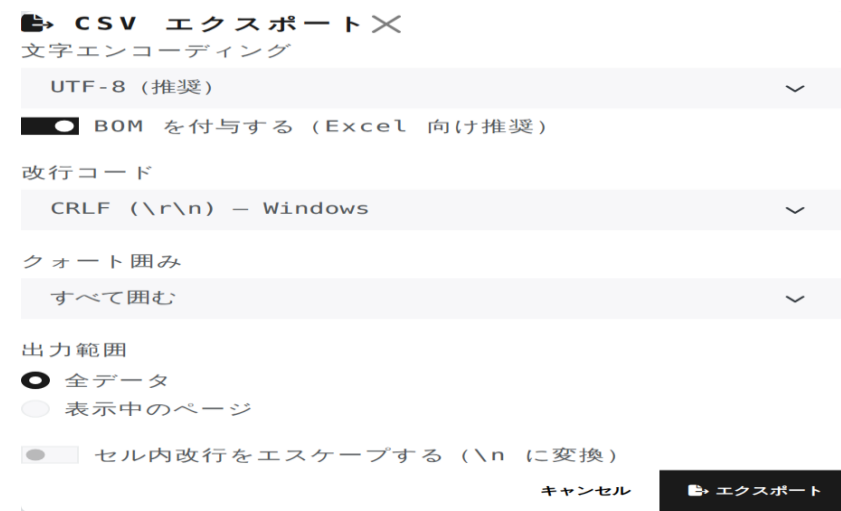
全データ or 表示中のページを選んで出力。Ctrl+S で同条件のクイック保存も可能

ユースケース

取引先システムの取り込み仕様（Shift_JIS・CRLF指定など）にきっちり合わせて出力する。

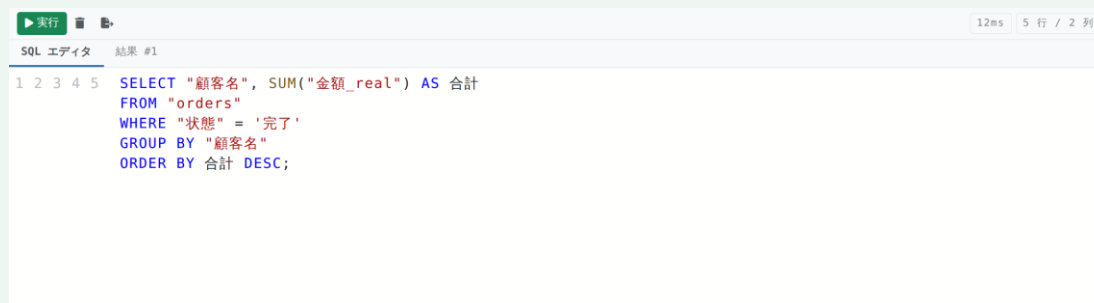
こんな方に

毎回 Excel の「名前を付けて保存」設定で文字コードを迷ってしまう方に。



SQL エディタで集計・抽出する

別ウィンドウの SQL エディタから、開いているシートに対して直接 SQL を実行できます。シンタックスハイライト付きのエディタで **Ctrl+Enter** を押すだけで実行。結果はグリッドで表示され、そのまま CSV として書き出すこともできます。



The screenshot shows a web-based SQL editor. At the top, there's a green '実行' (Execute) button and a status bar indicating '12ms' and '5 行 / 2 列' (5 rows / 2 columns). Below the button, the editor is split into two panes. The left pane, titled 'SQL エディタ', contains a SQL query with syntax highlighting: `SELECT "顧客名", SUM("金額_real") AS 合計 FROM "orders" WHERE "状態" = '完了' GROUP BY "顧客名" ORDER BY 合計 DESC;`. The right pane, titled '結果 #1', displays the query results in a grid format.

ユースケース

「顧客ごとの売上合計を降順で見たい」のような集計を、関数を組まずSQL一発で。

こんな方に

ピボットテーブルや複雑な関数を組むより、SQLの方が使い慣れている方に。

詳細設定で もっと使いこなす

テーブル管理・DBモード・見た目・セキュリティ



テーブル名・カラム名の管理

- テーブル名を変更 — SQL エディタで参照する識別子を分かりやすい名前に
- カラム名を一括リネーム — col_1 のような機械的な名前を意味のある名前に
- 列の表示／非表示を切り替え — 使わない列を隠してすっきり作業
- 先頭行をカラム名に設定 — ヘッダ行がなかったデータにも列名を付与

ユースケース

ヘッダのない業務システム出力のCSVに、後から分かりやすい列名を付けてSQLを書きやすくする。

こんな方に

無機質な列名のままだと、SQLを書くときに何度も見返して確認する手間がある方に。

高度な設定 ×

テーブル名

orders

H 先頭行をカラム名に設定

表示中のカラム: 5 / 全カラム: 5

カラム管理

👁	注文ID	col_1
👁	顧客名	col_2
👁	備考 (非表示)	col_3
👁	金額	col_4

キャンセル 適用

インメモリ／ファイルベース、2つの動作モード

インメモリモード（標準）

データをメモリ上に展開して処理するため、あらゆる操作が高速。通常はこのモードで十分です。



ファイルベースモード

ディスク上にSQLite ファイルを作成して処理。メモリ使用量を抑えられるため、超大容量データや非力なPCでも安定して扱えます。

ステータスバー左下のトグルからいつでも切り替え可能。切り替え時は確認ダイアログが表示されます。

🔄 ファイルベースモードに切り替えますか？

現在の内容から SQLite データベースファイル (.db) を作成します。
以後の変更は自動的にディスクへ保存されるため、100万行を超える 大容量データでもメモリ使用量を抑えて扱えます。
この操作は取り消せません。

キャンセル

切り替える

ユースケース

100万行を超えるログデータを、非力なノートPCでも安定して開き続ける。

こんな方に

特大ファイルを扱うたびにPCのメモリ不足やフリーズが気になる方に。

見た目と操作性を整える



■ ダークモード

ワンクリックでライト／ダーク表示を切り替え。夜間作業でも目が疲れにくい。

■ ステータスバーの統計

範囲選択するだけで、合計・平均・件数をリアルタイムに表示。

■ トースト通知

反映や保存などの操作結果を、画面右下に控えめに通知。

ユースケース

選択範囲の合計をパッと確認したい時、SUM関数を書かずにその場で見る。

こんな方に

夜間や長時間の作業で画面の明るさによる目の疲れが気になる方に。

安心して機密データを扱える設計

01

すべてローカルで完結

読み込み・編集・SQL実行・エクスポート、すべての処理がPC内で完結し、外部サーバーへのデータ送信は一切ありません。

02

オフラインで動作

インターネット接続がない環境でも通常通り利用できます。

03

MCP利用時も保護

AI連携（MCP）を有効にした場合も、既定でローカル専用バインド・アクセストークン認証により保護されます。

ユースケース

顧客の個人情報を含むCSVを、社内ネットワークの外に出さずに分析・加工する。

こんな方に

個人情報・取引先情報など、社外のサービスに預けられないデータを日常的に扱う方に。

AIと連携する MCPサーバー

Claude Desktop などから、シートに直接アクセスする



MCP サーバーとは

MCP (Model Context Protocol) は、AI アシスタントが外部のデータやツールに安全にアクセスするための共通規格です。CSV Zero は MCP サーバーを内蔵しており、Claude Desktop などの対応クライアントから、いま開いているシートに直接クエリを投げられます。



接続方式は HTTP (同一 PC 内) と stdio (Claude Desktop など標準クライアント向け) の 2 通りに対応しています。

かんたん連携ではじめる

1 拡張ファイル（.mcpb）を書き出す

ステータスバーの MCP 表示 → 「接続ガイド」から拡張ファイルを書き出し、Claude Desktop の「拡張機能」設定にインストールするだけ。設定ファイルの編集は不要です。

2 Claude Code は stdio 登録が推奨

`claude mcp add csv-zero -- "<exe>" --mcp-stdio` を実行するだけで接続できます。

3 その他のクライアントにも対応

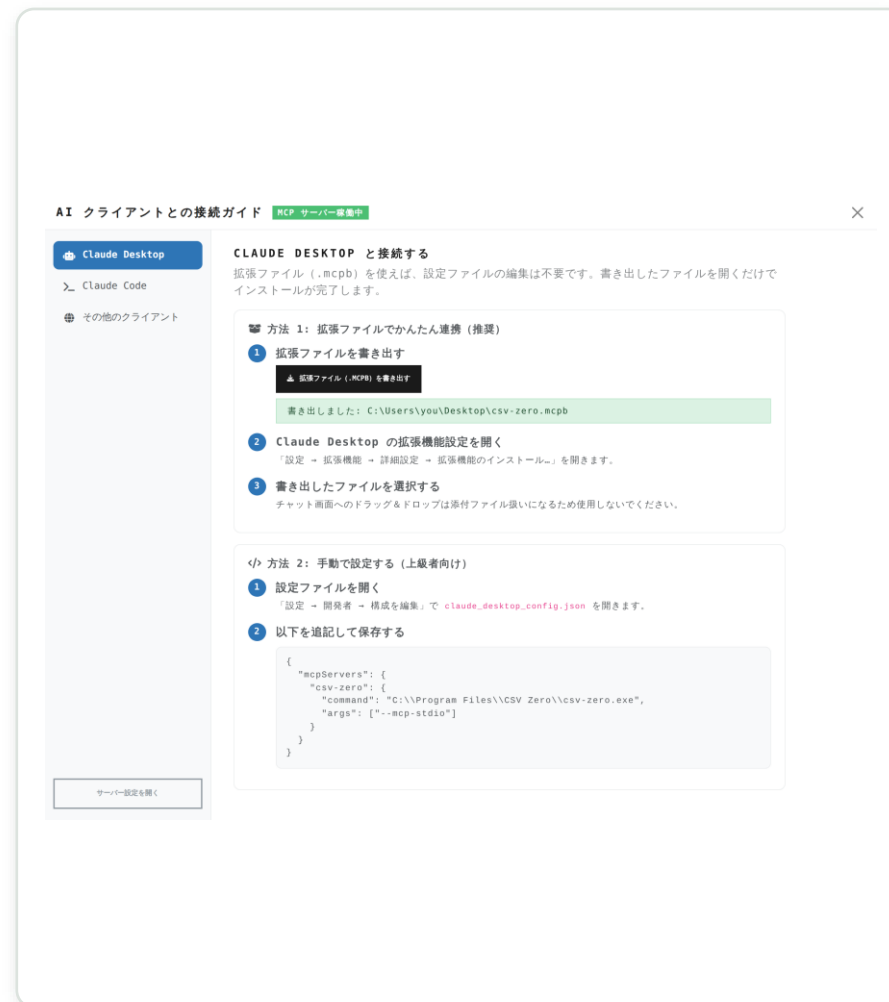
エンドポイント情報や curl での動作確認例まで、接続ガイド内でクライアント別に案内します。

ユースケース

初めて MCP を触る日でも、その日のうちに Claude Desktop から接続を完了する。

こんな方に

JSON 設定ファイルの手動編集に抵抗がある方、技術的なハードルを感じている方に。



サーバーの詳細設定

接続ガイドの「サーバー設定を開く」、またはステータスバーの MCP 表示から、細かな挙動を調整できます。

バインドモード	ローカル専用 (127.0.0.1) ／ LAN公開 (0.0.0.0) を選択
ポート番号	既定は 3939。他アプリと競合する場合は変更可能
アクセストークン	有効にすると、トークンを知るクライアントのみ接続可能 (LAN公開時は必須)
読み取り専用モード	SELECT / WITH / EXPLAIN 以外の実行を拒否し、閲覧のみ許可
最大返却行数	1回のクエリで返す行数の上限を設定し、負荷を抑制

ユースケース

部署内のみで使う LAN 公開サーバーを、トークン認証付きで安全に運用する。

こんな方に

社内データを扱う以上、AI連携は使いたいが安全面もきちんと管理したい方に。

MCP

サーバー

Claude Desktop

などの AI クライアントから、このシートに SQL でアクセスできるようにします。

バインドモード

ローカル専用 (127.0.0.1)

LAN 公開 (0.0.0.0)

ポート番号

3939

アクセストークンを要求

読み取り専用モード

最大返却行数

1000

閉じる

▶ 起動

MCP 連携の活用シーン



「いま開いているシートの内容を要約して」



「金額列に外れ値がないかチェックして」



「A列とB列を使って、月別の集計表を作って」



「重複している顧客レコードを見つけて」

AI が MCP 経由で自動的に SQL を組み立てて実行するため、プロンプトを日本語で伝えるだけで分析やチェックが完結します。

ユースケース

データ分析の「壁打ち相手」として AI に問いかけながら、探索的にデータを確認する。

こんな方に

SQLを自分で書くのは苦手だが、AIの力を借りてデータを触ってみたい方に。

キーボードショートカット一覧

コピー

Ctrl+C

貼り付け

Ctrl+V

切り取り

Ctrl+X

元に戻す (Undo)

Ctrl+Z

やり直す (Redo)

Ctrl+Y

検索バーを開く

Ctrl+F

検索：次のマッチへ

Enter

検索：前のマッチへ

Shift+Enter

クイック保存

Ctrl+S

SQL クエリを実行

Ctrl+Enter

ダイアログ／検索バーを閉じる

Esc

動作環境・仕様

■ 対応OS

Windows 10 / 11 ・ macOS 10.15 以降 ・ Linux（主要ディストリビューション）

■ 対応文字コード

UTF-8 ／ UTF-8 (BOM付き) ／ Shift_JIS ／ EUC-JP ／ UTF-16

■ 内部エンジン

SQLite（インメモリ／ファイルベースの2モード）

■ 通信

基本オフライン動作。外部へのデータ送信は行わない

■ 対応形式

.csv ／ .tsv ／ .txt（区切り文字は自動判定）

■ 推奨メモリ

4GB以上（大容量ファイル処理時は8GB以上推奨）

■ AI連携

MCP（Model Context Protocol）サーバーを内蔵

■ 価格

無料（広告なし・機能制限なし）



これで CSV Zero の全機能をひと通り理解できました

迷ったときは、まず「CSV Zero の始め方」で基本の流れを振り返ってみてください。

[読み込み](#)[表示](#)[編集](#)[検索・並べ替え](#)[エクスポート](#)[SQL](#)[AI連携\(MCP\)](#)[詳細設定](#)

csv-zero.com